

平成23年度 杉森中学校 第6回学校運営協議会 会議録

日時 平成 23 年 10 月 13 日(木)

運営協議会① 17 時 00 分～18 時 30 分

運営協議会② 18 時 30 分～19 時 15 分(人事)

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 石田 壽文
高崎 彰
伴野 博美
大川 洋
安藤 雄太
由井 宮太郎
松本 美智子

大橋 亮介(校長)



《杉森中学校事務局》 田邊 克宣(副校長)
白井 克幸(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)

長谷川 祐子(嘱託事務)

A委員 前日は雨の中大変でしたが、PTA懇談会が開催できて良かったです。

9月は相模湖移動教室・修学旅行・鎌倉遠足と行事がたくさんあり、先生方も大変だったことでしょう。校長先生は足をケガされてしまったり…。

司 会 後ほど協議会で職場体験について話し合いたいので、先生方も加わっていただきたいと思います。では校長先生学校からの報告をお願いします。

校 長 修学旅行については後ほど教務から報告していただきます。10月10日科学創意工夫展で1Cの廣野晴さんが「教育委員会賞」を取りました。科学館で授賞式がありました。内容はカビについての研究。パワーがあり、とてもよく調べていました。

21日は合唱コンクールが、青少年総合センターであります。ぜひ足を運んでいただけたらと思います。



副校長 10月5日、幼少中一貫全体の研究会がありました。杉一小・馬橋小の先生方にきていただき、公開授業を行いました。これからも連携を深めていきたいと思います。

司 会 研究会で何か話題になったことはありますか。

副校長 小学校の先生は中学の授業を始めてご覧になった方がほとんどでした。小学校と中学校ではマッチのすり方一つとっても違うなど。

A委員 11月5日道徳地区公開講座で5時間目に桜田さんの講演会があります。一般の方にもぜひ聞いていただきたいですね。

B委員 これは「教育の日」ですね。

教務主任 幼小中の合同研究会は、同じ日にグループ別にやるというのは初めてでした。翌日主任会がありました。本当に一貫でやるどころや、本校のように始めてのところもあります。

高円寺では、5・6年が中学に来て授業をうけている学校もあるそうです。

- 教務主任 問題点は、研究会の分け方では本来の児童の流れと違ってしまう。例えば馬橋は杉森に、杉一は阿佐中に入学する児童が多い…と言う様な。その辺のすり合わせが必要ですね。小中でシラバスを考えているというところもありました。
- A委員 実際に連携をとったカリキュラムというのは難しいですね。
 まず小学校同士が初顔合わせだったりするので、まだ本当に第一歩といった感じでした。
- 司 会 品川型の小中を目指しているということは？
教務主任 品川は最初から一貫を目指しているわけですが、学区制や学校選択制もあり、杉並区ではいきなりの一貫は難しいと思います。
- A委員 その他に研究会での具体的な内容は？
教務主任 教科ごとに分科会をしました。司会を立てて、小中の先生方で話しをしました。何年がかりの仕事になりますね。
- B委員 区の方で定めていないですもんね。何をしたいのかを区教委で決めてもらわないと。
- 校 長 今回は本当に顔合わせということですね。まずはそれから始めないと。来年は夏の研修をしないといけない。
 連携と一貫がありますが、校舎が別だったり緻密すぎるときちんと組み立てられなかったり、学区が違うと難しいですね。
- 司 会 今まで小中一貫は考えたことはありませんね。複数の小学校からくるので一貫は難しいですね。生活指導の連携は取り易いのでは。



教務主任	学校公開・学校説明会・修学旅行と行事がありました。修学旅行には長期欠席の生徒が6名中4名が参加できました。欠席が2名でした。
B委員	杉森に不登校がたくさんいると保護者から聞きました。修学旅行で、あらためて不登校の子を見て刺激的なことだったのでしょう。
教務主任	家に帰って保護者に話したのでしょう。 修学旅行は、飛鳥ではレンタサイクルが気持ちよかったようです。一人自転車に乗れない生徒がいましたが…。その後民宿へ。民宿の方からは「とてもよくやっていました」といわれました。 二日目は興福寺・東大寺を見学しました。私が教員をしていてこんなに熱心に仏像や建造物を見学した生徒たちを初めて見ました。かなりの生徒が時間をかけて見学し、塔や仏像について討議している姿を見かけました。
司 会	宝物殿が魅力的になったからでしょうか。
教務主任	それもあると思いますが、時間がすぎても見ていました。
A委員	シュティー先生が、仏像に関する授業をやっていましたね。事前学習がとてもよかったと思います。
教務主任	こういう鑑賞態度は、すばらしいと思います。かなりの生徒がよく観ていました。7日(金)進路説明会でした。資料をご覧ください。1・2年生の保護者にも声をかけましたが、110名位の参加がありました。 10月21日の合唱コンに向けて練習をがんばっています。10月26日、日フィルをお招きしています。金管五重奏を体育室で全学年が鑑賞します。 28日理科教室が科学館であります。28・29日はジャズフェスティバルです。吹奏楽部が中瀬中と合同でバンド演奏をします。 11月5日に道徳授業地区公開講座があります。11月日から三者面談が始まります。
生活指導	現在不登校3年6人・2年1人・1年1人です。担任と連絡を取り合っています。 学校全体の雰囲気は明るくなってきた感じです。1年も良い習慣を身につけようということで、朝読書の指導に力を入れ始めました。遅刻をしないようにという態度が見られます。委員会では3年生が受験体制になってきたので2年生が中心になっています。 生徒会では女子が多かったのが、男子も増えてきました。 避難訓練の集団下校では、不審者・地域・消火器やAEDの場所を確認させ、意識付けさせました。 野球部の生徒がランニング中倒れましたが、1週間前に退院しました。これからより多くの目で見ていきたいと思います。

生活指導 近隣では、ミクシィで他校同士がつながり、万引き事件があったようです。本校ではありませんが…。

集団下校は自転車で回ったほうがよかったと思います。

司 会 多摩地区では、災害給付金をもらうのに通学路が問題になっていたようですが、杉並ではどうなのでしょう。

校 長 中学校は、小学校のように決められた通学路はないですね。入学の時に保護者に地図を書いて、提出してもらいますが、法的なものではありません。

C 委員 ミクシィは子どもたちが…？

生活指導 知らない子供同士がミクシィで呼びかけて色々な事をしているうちに、万引きをしてしまった。

C 委員 自分のアドレス管理をきちんとしないと。一斉送信など…。

不登校の生徒はどんな状態ですか？

教務主任 家庭の中では普通にすごしているのではないのでしょうか。修学旅行には参加するので、学校をシャットアウトしている訳ではないようです。昼夜逆転してしまっている生徒もいるようです。

C 委員 対人恐怖症ではないんですね。

教務主任 そうですね。コミュニケーションが取れないというわけではない。参加できなかった子達は2人とも姉がいて、不登校でした。

A 委員 フリースクールには行ってるんですか？

教務主任 さざんか教室に行っている生徒もいます。

司 会 私の前の学校では、修学旅行に母親が心配してついてきた事もありました。不登校については学校だけで扱うのは難しい。スクールカウンセラーも訪問はやりませんから。スクールソーシャルワーカーを置くのはどうでしょう。

教務主任 金子のほうから、職場体験のまとめを預かりました。ご覧ください。

2年生が校外学習で鎌倉に行き、班行動をしました。3階にまとめが貼っています。

司 会 広報から何か？

D 委員 原稿は大体集まっています。

A 委員 職場体験の冊子を見ました。職場を探すことを生徒にさせたことが有意義だったと思います。実体験に基づいていましたね。

1 年次に職業調べ→2 年次に職場体験→まとめた成果になる。

今まで協議会として職場体験のありかたについて考えきましたが、5 日間のしびりがどうなのかという提案をしてみました。済美教育センター副所長の回答によると、杉並区の実施要綱に沿ってやっていただかなくては行けない。第 16 条の教育課程を変遷し…→変えることはできない。

ということでしたが、職場体験が夏休み・冬休みにできないだろうか…。これは授業時間の取り方・要綱を変えない限り変更はできないということです。そろそろ変更をしたほうがよいのではないかな。要綱の設定は校長に対する越権行為なのではないか。新しく作ってもらえるように働きかけたい。

教務主任 職場体験だけは厳しいですね。各校の裁量に任せてくれたらいいんですが。冊子やファイルにはお金をかけているようですが、かえって使いづらかったりします。

C 委員 他の学校も同じ様にやっているのですか？周辺区では柔軟に運用しています。他区ではどうやっているんでしょう。

A 委員 武蔵野は 3 日ですね。

教務主任 形は 5 日になっている所もあります。まとめや御礼の時間をとって、実質 3 日間とか。町田・江戸川・杉並は 5 日間やっています。1 月の終わりに都庁でモデル校のようなところが、毎年発表会をしています。

司 会 職場体験の日程についてはどうですか。

D 委員 子どもたちの体験活動調査(平成 10 年)が行われたのですが、自然体験や生活体験が豊かな子ほど道徳観や正義感が強い。またお手伝いを良くする子は道徳観・正義感が強いという結果が出ています。

これが文部科学省が体験活動を重視しているもとになっています。ここから中学校の職場体験活動が指導要領に登場してきました。これは何度も繰り返し調査されたもので、同じような結果が出ています。これに追い討ちをかけているのが PISA2004 年の調査です。読解力が中心的な調査対象でした。

学校での様々な活動が豊かであるほど、読解力が高いという結果です。

合唱コン・自然科学クラブなどの体験活動があると、30 点以上の差がつくようです。あまりに体験活動が少ないという所を変えていく必要があるのでは。体験活動をあえて 3 日にするというのはこういう研究結果に相反するので、文科省にはなかなかウンといってもらえないでしょうね。

こういう事にあまりこだわるのはよくないですが。

B 委員 日にちの問題より、質の問題ではないでしょうか。長期休暇などを利用して学ぶことができたらいいいですよ。

生活指導 これをやることによって、何を得られるかが大切です。3 日・5 日にこだわらず、時期や時間にこだわらず、子どもたちのことを考えて決めるのが大切じゃないでしょうか。

上から言われるだけでこちらの意見を聞いてもらえないのはよくないですね。

D 委員 子どもの希望をかなえてあげるのは、私たちの仕事ですね。生徒が将来の夢を描いたり、職業観を培ったり、大人とコミュニケーションをとり、人間関係の構築がうまくできるように…それを実現させてあげる手伝いをするのが大人の仕事ではないでしょうか。

司 会 冊子などの作成では先生方に感謝しております。

授業時数の確保が問題になっていますね。また、このことについては運営協議会で話し合いをしました。

C 委員 イギリスのコミュニティースクールでは、集団で子どもたちが議論しています。自分たちで考えることが大切です。体験すること自身より自分がそれをどう思うかが大切です。それがなければ、5 日間行ってもただ疲れるだけですから。

司 会 では今日は人事の話もありますので、このへんで。(以後非公開)